

シンポジウム 脳科学から気功の可能性を考える

人体科学会研究サロン・気功の可能性を考える会／人体科学会東日本ユニット共催

I. 講演 「脳科学と気の科学—今までとこれから」 講師：河野貴美子先生

II. パネルディスカッション 「脳科学から気功の可能性を考える」

パネラー 定方昭夫（新潟樹林気功会）／河野貴美子（人体科学会）／北原立朗（湘南工科大学）
出口衆太郎（自然身法研究会）／遠藤卓郎（つくば気功研究所）／鳥飼美和子（峨眉養生文化研修院）

日本人の寿命が延びてきたと巷間騒がれていますが、果たして多くの人々が健やかで康らかな日々を送っているといえるのでしょうか？そういう中で、養生法としての気功を現代の日本人がどう受容し、かつ消化して自らのものとしていくかは、今に生きる我々に課せられた大きな課題です。

本研究サロンは、2014年の人体科学会第14回大会をきっかけに立ち上がり、日本における気功の過去を振り返り、現在を見つめ、未来をどう切り拓いていくかを考えるため、サロン同人が会議を重ね、また外へ向けての様々な企画セッションをもってきました。2017年の「日本の気功—その過去・現在・未来を語る」、2022年の「日本の気功の可能性を探る」シンポジウムはその成果でした。

今や、単に気功法を広めるだけでなく気功の心身に及ぼす影響を見定めていく地道な研究が必要とされます。近年、研究方法の進歩により、脳科学の分野がいろいろな意味で注目されつつあります。

今回、学会の内外で様々な心身技法の脳波研究で活躍されてきた本学会理事の河野貴美子先生に、ご自身の研究報告をしていただき、また近年の脳科学の発展に伴い心身技法の何が明らかになりつつあるかをお話していただきたいと思いました。またfMRI（磁気共鳴画像）などがどこまで気功などのボディワークに迫ることができるかについてもお話を伺いたく思っています。本学会の若手として気功・合気柔術などの練功に励みながら脳波による研究を発表されている北原立朗先生にもパネラーとして参加いただき、この問題をめぐる議論を実のあるものにしていこうと考えています。多くの皆様方の参加をお待ちしています。

6月11日（日） 13:30～16:30

会場 経堂地区会館別館 小田急線「経堂駅」

下車6分

東京都世田谷区経堂3丁目1番15号

参加費 前売り 2,500円 当日 3,000円

開場 13時 開演 13時30分 閉演 16時30分



シンポ・脳科学から気功の可能性を考える・開催要項



講師：河野貴美子（国際総合研究機構副理事長 人体科学会常任理事）

脳生理学の立場からヒトの意識や健康に関する研究に携わる。各種セラピー、ヒーリング等リラクゼーション法の実施時、また音楽静聴時や気功・瞑想時、さらにプロ棋士やスポーツ選手、また珠算や速読などにおける能力発揮時の脳波など生理計測データをもとに、脳と心の問題について研究している。共書に『決定版 気の科学』（総合法令）『科学とスピリチュアリティの時代』（人体科学会）、論文に「脳波から探る気の存在」、「脳波パターン解析と気による同調現象」などがある。

開催概要

- ◇日時 2023年6月11日（日）開場：13：00 開演：13：30～16：30
- ◇会場 経堂地区会館別館 東京都世田谷区経堂3丁目1番15号 03-3427-6855
- ◇参加費 前売り 2,500円 当日 3,000円（人体科学会々員は2500円、なるべく事前申込・振込でお願いいたします。）
- ◇主催 人体科学会研究サロン・気功の可能性を考える会（代表 定方昭夫）
- ◇共催 人体科学会東日本ユニット
- ◇協力 新潟樹林気功会／つくば気功研究所／峨眉養生文化研修院／自然身法研究会／雑誌「遊働する身体」

- ◇お申込み方法 本紙下部内容を、Eメールにてお申し込みください。受付確定後にご入金をお願いいたします。申し込みの締め切りは5月31日までです。
- ◇お支払い方法 前払い 2500円（郵便振替口座：00280-9-103032<口座名 辻堂出版>に気功サロンと明記。振り込み後のキャンセルは不可。代理受講は可能。振込手数料は自己負担となりますのでご了承ください。また、領収証は振込受領書を以って代えさせていただきます。）
- ◇お問い合わせ先 090-6537-6943（西田） 03-5347-4493（鳥飼）

シンポ・脳科学から気功の可能性を考える・申込書

下部内容をEメール：jintaikagaku@jcom.zaq.ne.jpにて申込みください。

お名前

TEL

Email

おところ

〒

所属（職業）
